PRINTING BIRTH NAGASAKI

長崎県印刷工業組合
長崎市出島町10－13(印刷会館内)
TEL 095-824-2508
発行責任者　理事長　岩　永　正　人
編　集　組織活性委員会
E-mail nagapuri@fancy.ocn.ne.jp
URL http://www.nagasaki-pia.org/

印刷・発祥・長崎　2012. 12 VOL. 78

女神大橋と観光丸（出島ワーフ）２０１２年11月

CONTENTS

全国印刷文化典北海道大会 島村会長挨拶（要旨）…… 2
活 動 報 告…… 4
県工組今後の予定…… 4
各支部の状況…… 4
お悔み・組合員の退会・事業主の変更…… 4
最低賃金の改正…… 5
青 年 部 通 信…… 8

平成24年9月21日

全国印刷文化典北海道大会 島村会長挨拶（要旨）

全国印刷文化典北海道大会については前号で概要をお伝えしていましたが、今号では全日本印刷工業組合連合会の島村博之会長の組合員に対するメッセージの要旨を掲載します。

組合に求めるメリットは…

全印工連の会員数は、1992年以降は着実に減少を続けている。今後も減少傾向が続くことが想定されるので、事業・財政の両面において深刻な影響を及ぼすことは必至である。

組合なんかなくてもいいではないかという話があるかもしれないが、本当に組合は無くても大丈夫なのだろうか。

全印工連会員企業の平均従業員数は21人、平均売上高が４億1,600万円、この規模の印刷会社に対して､国はもとより地方自治体でさえも､対応できることは非常に少ない。

従来、組合員が組合に求めてきたメリットの大部分は、「仕事の提供」、「資材価格の安定」、「売価の安定」､「低金利融資」であった。しかし、企業の経営において、業界の動向、自社の立ち位置といった情報は極めて重要である。そして中小零細規模の会社が、自社だけでは知り得ないそれらの情報を得られる唯一の場が組合である。組合員にとっては組合の存続は死活問題であり、無くなったら困るということである。これからの組合に求めるメリットは、正しい経営判断をするために必要な情報収集以外にはないということである。

次の問題は、連合会の存在意義である。各県工組でそれぞれの事業を主体に運営していくのは当然のことであるが、大局的な業界の方向性を限られた地域の状況だけで判断していくことは正しくない。国という範囲で業界を客観的に見つめて、将来進むべき方向を追求し、新しい産業構造を構築していく組織は、たとえ中小零細企業の集団とはいえ持っていないとならない。そのために必要なのが連合会である。そしてこのミッションを遂行するために皆さんから賦課金をいただいていることを今一度理解をいただきたいと思う。

産業戦略デザイン室

「産業成長戦略ビジョン」では、業界の動向だけでなく、社会全体の構造変化の動向を踏まえてビジョンを描き出したい。

①2010年以降の業界動向を加味した最新の数値予測の実施

②全国各地での特徴的な幾つかの取リ組みを深く探求して、ミクロな視点から得られる普遍性についての考察

③利害関係者との対話を実施して社会が求める｢新しい印刷産業｣のイメージの模索ビジョンの発表は2013年10月に東京で開く全印工連フオーラムで行う。

「また決算書を良く読める経営者は黒字会社の方が赤字会社より２.５倍多い」という結果を踏まえて、勝ち残り合宿ゼミを開催したい。

印刷産業連携推進室

産業成長戦略提言に基づいて全印工連の方向性を説明し、関連業界として、それぞれの会社がソリューション・プロバイダーを目指す組合員に対して、今後どのような協力をしてもらえるのか考えてもらう機会とした。

ＭＵＤ 事業推進室

６月１日に全印工連とＭＵＤ協会が業務委託契約を正式に交わした。今後は連携しながら事業を進めていきたい。

「第６回ＭＵＤコンペティションの実施」は、７月中旬に募集要綱を発送した。作品応募期間が９月３日～11月30日まで、予備審査12月17日、本審査12月18日、結果発表12月25日、表彰式が来年２月上旬の予定である。コンペティションには印刷会社だけでなく、発注主にも参加していただきたい。

経済産業大臣賞をもらえるすばらしいＭＵＤコンペティション。この賞がなくな

らないように、多くの出展作品を出していただきたい。

経営革新・マーケティング委員会

「経営イノベーションの研究推進」は、昨年発行した『印刷産業経営羅針盤』に関する「印刷業経営クリニック（仮称）」の立案とワークブックの作成を行う。２５年度に発表する予定で進めている。

「マーケット創造（新市場創造）の研究」は、国内外ソリューション・プロバイダーの事例研究である。現在業績を伸ばしている会社がどのような事業展開を行っているのか、視察や講演を開催して、事例研究をしていく。

環境・労務委員会

昨年まで、環境と労務は別々 の委員会事業であった委員会を今年度から一緒にした。そうしたところ胆管がん問題が発生して、タイミングとして適当であったように思う。

「ＧＰ認定工場は２８０工場あるが、そのうち全印工連組合員１５０工場である。昨年12月からはデジタル印刷工程のＧＰ認定が開始された。全印工連では既に41工場が登録している。ＧＰ印刷資材認定制度の活用は、本年４月現在、洗浄剤や工ッチ液など11社２５３製品が登録されていて、日印産連ホームページで公開している。胆管がんの問題もあるので、自社で使う薬品関係、資材については何が適正か確認した上で使ってほしい。

過日行われた「化学物質の取り扱いについての実態調査」の結果、全印工連の中で労働安全衛生に基づく処理の実施率の質問項目において、何も行っていないと回答した会社が全体の１０%あった。それぞれの工組での指導を徹底していただきたいと思う。

ここで「化学物資の健康障害防止対策に関する会長表明」を読上げる。

〔声明文はＰＢながさき２４年９月号に掲載〕

組織活性委員会

「組合員台帳については、今回から記入項目を大幅に減らした。記入項目を社員数と加工高の２つに絞り提出率を１００%にしたいという目標を持っている。組合員台帳は組合員である以上義務と考える。

「共済制度の推進」は、加入継続と促進を引き続きお願いしたい。

「広報事業」は、対外的なメッセージを全印工連として出していく。

教育・研修委員会

「企業改革のための情報の提供」は、見える化セミナーで行う生産性向上ということである。生産性は大小規模に関係なく必要である。特にホワイトカラーの生産性向上の研究については、難しいテーマであるが、この委員会で積極的に取り組んでいる。

「技能五輪全国大会の開催に向けた活動推進」は、技能五輪が昨年はロンドンで開催され、オフセット印刷部門で長野県の亜細亜印刷の伊東真規子さんが見事金メダルを取った。全印工連会員のそんなに大きくない会社のオペレータが世界一になったので、これを勢い付けようということである。現状は残念ながら技能五輪出場について、中小印刷会社でのモチベーションは上がっていない。技能五輪全国大会に印刷部門がないため参加のしようがないので、ハードルが高いとは思うが、これを設けるよう努力をしたい。

ＣＳＲ推進専門委員会

「ＣＳＲの普及・啓発の推進」は、明日の全印工連フオーラムのメインテーマである。必ず出席してＣＳＲが経営にどう役立つのか是非理解して帰っていただきたい。

「ＣＳＲ認定事業の推進」は、賛否両論あるが、まずやってみる、狭い世界から始めるということで理解してもらいたい。全印工連の組合員だけを対象に自己満足の事業を行う。全印工連の中でＣＳＲ認定制度があって、認定されている会社がある。それが第一歩である。それが経営に役立つとか、企業のモラル向上に繋がったとか、顧客から認められたとか、こういう例を作っていくことが大切ではないだろうか。第１回の認定期間が来年２月から、第２回が５－７月、第３回が９－10月、４回目が11月－翌年１月となっている。

まだまだ始まったばかりである。あと１年半執行部全員、事務局全員一丸となって全印工連の活性化に尽力するので皆様のご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げる。

活　動　報　告

○10月10日㈬　於:福岡市
　九州地区印刷協議会　岩永正人理事長
○10月17日㈬
　認定訓練講習会
　テーマ：「印刷産業経営羅針盤」
　講　師：㈱タナベ経営
　　常務取締役　大川　雅弘 様
○10月23日㈫　時津町
　長崎県産業安全衛生大会
○10月30日㈫　長崎市
　長崎県火災共済協同組合理事会
　岩永正人理事長
○11月15日㈭　東京都
　全印工連理事会
　岩永正人理事長
○11月21日㈬　長崎県庁
　長崎県との打合
　岩永正人理事長・小林副理事長
○11月22日㈭　長崎県印刷会館
　認定訓練講習会
　テーマ：Ipadで実戦！印刷業界で使える
　　モバイル活用法とは？
　講　師：ハイデルベルグジャパン㈱
　　印刷コンサルタント　大出　紀美江 様

県工組今後の予定

○長崎県印刷工業組合理事会
○長崎県印刷工業協同組合理事会
○本木昌造顕彰会理事会
　日時：平成24年12月７日㈮
　場所：長崎県印刷会館３Ｆ
○新年互礼会
　日時：平成25年１月18日㈮
　場所：サンプリエール
○九州地区印刷協議会
　日時：平成25年２月15日㈮・16日㈯
　場所：ホテルニュー長崎

お　悔　み

・平成24年10月22日㈪
　日本紙工印刷株式会社
　　代表取締役社長　窪　香津子 様
　謹んでお悔やみ申し上げます。

組合員の退会

・平成24年10月19日㈮　　三光印刷有限会社

事業主の変更

・平成24年10月23日㈫
　日本紙工印刷株式会社
　　代表取締役社長　松　山　賢二郎 様

各　支　部　の　状　況

長崎支部

●長崎支部役員会
　平成24年11月２日㈮
●ソフトボール大会
　平成24年11月23日㈮
　小雨が降る中予選リーグ各３試合が行われそれぞれのリーグの順位が決定し、優勝決定戦を行うこととなりましたが、あいにくの雨でじゃんけんでの決着となりました。結果は次のとおりです。

　優　勝　正文社印刷所
　準優勝　インテックスＡ
　第３位　チームＫＰ（川口印刷）

●忘年例会
　平成24年12月７日㈮　割烹こじま

佐世保支部

●忘年懇親会
　平成24年12月７日(金)　天津包子館

創業明治7年、おかげさまで138年　和洋紙・文具・事務機・オフィス家具・園芸資材・総合卸業
㈱永池
長崎支社　〒851-0134　長崎市田中町1235－2　長崎卸センター内　ＴＥＬ 095(837)8123 ＦＡＸ 095(837)8136
本　　社　〒849-0916　佐賀市高木瀬町大字東高木262－1　ＴＥＬ 0952(31)1151㈹

長崎県最低賃金が改正されました

長崎県で働くすべての方へ。
意識したことありますか？　**最低賃金**

これまでの最低賃金　646円

長崎県

653円（時間額）

［発効日］平成24年10月24日

長崎県最低賃金は、「平成24年10月24日から１時間653円」に改正されました。

労働者に支払う賃金が最低賃金額以上かどうかを確認し、最低賃金法違反にならないようにしましょう。（派遣労働者については、派遣先の事業場に適用されている最低賃金が適用されます。）

※特定の産業には「特定（産業別）最低賃金」が適用されています。

最低賃金額以上かどうかの調べ方

【計算例】

①時間給の場合
　時間給≧６５３円

②日給の場合
　日給÷１日の所定労働時間≧６５３円

③月給の場合

年間所定労働日数：２６０日
月額：１１３,０００円
所定労働時間：８時間

で働いている場合、計算式に当てはめると、

$$\frac{\text{月給１１３,０００円１２か月}}{\text{年間所定労働日数２６０日×８時間}} = ６５１円９２銭 < ６５３円$$

【この場合は最低賃金額を満たしていないことになります。】

※最低賃金額との比較にあたって次の賃金は参入しません。
① 精皆勤手当、通勤手当、家族手当
② 時間外、休日、深夜労働に対する賃金
③ 賞与等、臨時の賃金

詳しくは、長崎労働局労働基準部賃金室　☎０９５－８０１－００３３
または最寄りの労働基準監督署までお問い合わせください。

長崎労働基準監督署	095-846-6353	島原労働基準監督署	0957-62-5145
長崎監督署五島駐在事務所	0959-72-2951	諫早労働基準監督署	0957-26-3310
佐世保労働基準監督署	0956-24-4161	対馬労働基準監督署	0920-52-0234
江迎労働基準監督署	0956-65-2141	対馬監督署壱岐駐在事務所	0920-47-0467

FUJI xerox

富士ゼロックス長崎株式会社
代表 Tel 095-822-3330 Fax 095-828-0721
□長崎市万才町3-5 朝日生命長崎ビル 〒850-0033
□諫早市城見町20-17 ネオシティ城見ビル 〒854-0005
□佐世保市戸尾町3-5 太陽生命佐世保ビル5F 〒857-0864
□島原市加美町1199番地 赤星ビル2F 〒855-0808
□対馬市美津島町鶏知533-2 〒817-0322

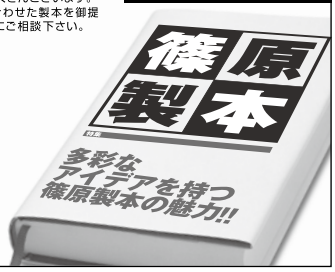
本気の製本やってます。

業務内容を記載しておりますが、当社にはあたためている製本アイデア等、たくさんございます。クライアント様のニーズに合わせた製本を御提案致します。まずは、お気軽にご相談下さい。

Shinohara Book Binding co,ltd

事業内容
上製本　全般（各種出版物、町史、自分史 等）
並製本　糸かがり、アジロ綴じ、無線綴じ、平綴じ 等
その他　和綴じ、卒業証書ホルダー、メニューカバー

PUR製本 稼動中!!
ページが開きやすい　高温でも壊れにくい
耐久性が高い　幅広い素材に対応可能



篠原製本株式会社
〒811-1344　福岡県福岡市南区三宅3丁目18-6
TEL / 092-552-1146　FAX / 092-552-8461
E-Mail / info@shinohara-bb.com
URL / http://www.shinohara-bb.com/

NEXT GENERATION GRAPHIC ARTS

DIC
Color & Comfort by Chemistry

変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DICグラフィックス株式会社
九 州 支 店　福岡市博多区東那珂1-15-48
http://www.dic-graphics.co.jp/

1年間52,500円で
すべてのフォントが
使いこなせます。

モリサワ

モリサワを使いこなそう。
MORISAWA PASSPORT
www.morisawa-passport.jp
使用方法につきましては、エンドユーザライセンスに基づきます。価格は消費税込みの希望小売価格です。

情報をデザインする
紙製品のトータルサプライヤー

KING CORPORATION

名刺用紙
私製ハガキ
招待状カード
各種封筒
婚礼用席順カード・席礼
カレンダー
賞状・株券
のし紙・荷札
領収書用紙
各種メニュー
辞令用紙

株式会社 キングコーポレーション 福岡支店
〒813-0062　福岡市東区松島3丁目18番14号
TEL（092）612－3861　FAX（092）612－3862

ASAHI HOLDINGS
東証一部上場：5857

資源の有効活用と環境保全のパイオニア

貴金属リサイクル及び各種廃棄物の処理はお任せ下さい。

ASAHI PRETEC

福岡営業所/福岡県古賀市糸ケ浦43　TEL:092-943-2223
東京本社/東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー11F　TEL:03-6270-1830

取扱品目

・定着廃液	・製版フィルム
・現像廃液	・SM版
・PS版現像廃液	・PS版（アルミ板）
・トナー廃液	・廃プラスチック類
・エッチング廃液	・金属屑
・廃油	・特別管理産業廃棄物
・廃インク	・不要パソコン類
・廃ウエス	・排水分析

和洋紙・紙製品・化成品・紙関連機械・文房具・事務機器・包装資材・介護用品

KYUSHU KAMI
九州紙商事株式会社

□本　社
〒812-0857 福岡市博多区西月隈3丁目2-14
TEL092-401-0010 FAX092-403-0040
E-mail：fukuoka@q-kami.co.jp

□佐世保支店
〒857-0852 長崎県佐世保市千尽町5-24
TEL0956-31-5358 FAX0956-31-2789
E-mail：sasebo@q-kami.co.jp

□佐賀支店
〒847-0022 佐賀県唐津市鏡2545-1
TEL0955-77-2531 FAX0955-77-3146
E-mail：saga@q-kami.co.jp

□久留米支店
〒830-0044 福岡県久留米市本町10-8
TEL0942-33-1271 FAX0942-34-8677
E-mail：kurume@q-kami.co.jp

〒850-0875 長崎市栄町4-20
(資)井上勲紙店
TEL (095) 826-8155・FAX (095) 823-3372

お役に立つ品質を
誠意とサービスをこめてお届けします

★枚葉カラーインキ　SUPER　TEK
☆オフ輪カラーインキ　SUPER　VITAL
★信頼性高い　UVインキ

株式会社　T&K　TOKA
福岡支店
福岡支店 813-0062　福岡市東区松島６－４－20
ＴＥＬ（092）611－1136（代表）
ＴＥＬ（092）622－7494
本　社 174-0055　東京都板橋区泉町20－４
ＴＥＬ（03）3960－5101（大代表）

児島洋紙株式会社

本　社　〒810-8731 福岡市博多区中洲中島町２番１号
電話 092(291)1331　FAX 092(271)2638
北九州営業所　〒803-0802 北九州市小倉北区東港１丁目１番４号
電話 093(581)5331　FAX 093(571)5417
長崎営業所　〒851-0134 長崎市田中町５８２の１
電話 095(837)8041　FAX 095(830)2291
鹿児島営業所　〒819-0123 鹿児島市卸本町７番１９号
電話 099(266)6341　FAX 099(266)6371
東京事業部　〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目2番6号第二扇屋ビル5階
電話 03(3459)6623　FAX 03(3459)6624

青年部通信

ベルナード スイート クリスマス 2012

手作りハガキ印刷で楽しもう！

日時　平成24年 12月16日（日） 12:00～16:00

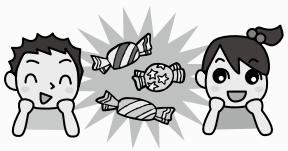
場所　ベルナード観光通り Cブロック（バッグの市丸前）

参加無料　参加ご希望の方は、当日受付順となりますので、お早目に受付をお願いします。

WAKU WAKU 凸版印刷体験コーナー

クリスマスカードや来年の干支のイラストを凸版印刷機（手動）で印刷体験をしよう。
（※１人５枚まで）

お菓子つかみどり



活字復元のビデオ上映

本木昌造パネル展

～学問を広め、情報の流通を促し、文化を伝える～

本木昌造の先見性・使命感の情熱には、私たち現代の印刷業界にも熱く語りかけてくるものがあります。

私たちが手がける印刷業は、現在マルチメディア化が求められ、その対応が急がれているところです。しかし、そうした中にあって、私たちはもう一度印刷を通して「人から人へ伝えるということ」を考えていきたいと思います。

長崎で生まれた近代活版印刷の創始者、本木昌造（1824-1875）が生み出した活字は、日本中央の新聞・出版界を席巻し、わが国の印刷文化の基礎を固めていきました。

主催／長崎県印刷工業組合青年部　　協力／長崎浜市観光通商店街振興組合
協賛／長崎県印刷工業組合・(資)井上勲紙店・児島洋紙(株)・(株)永池

お問い合わせ　095-824-2508（長崎県印刷工業組合青年部事務局）